



NPO 法人 京都観光文化を考える会

都草だより

第10号
 発行人：坂本孝志
 編集人：西野嘉一
 発行所：京都市上京区
 下立売通新町西入
 京都府庁旧本館2階
 電話：075-451-8146

都草5周年記念式典・新年会を終えて

平成 24 年 1 月 21 日（土）に、「都草5周年記念式典・新年会」が三井ガーデンホテル京都四条において盛大に開催されました。当日は約 80 名の会員が集まり、ご出席いただいた当会顧問の井上満郎先生、京都商工会議所の町田部長様からは、心のこもったご挨拶をいただきました。

都草が「京都検定を考える会」として発足したのは平成 19 年 1 月です。同年 2 月に「NPO 法人設立準備会」が行われ、同年 8 月には京都府から NPO 法人の認可を受けました。

当初は 20 名だった会員数も現在では 300 名を超え、都草は「活躍できる場を自ら創造する」という当初の目的を着実にすすめるとともに、様々なボランティア活動を通じて社会にも大きく貢献してまいりました。

坂本より 5 周年のご挨拶を申し上げ、これまでの具体的な活動実績については、「5 周年のあゆみ」をご出席の皆様にお配りさせていただきました。

今回、特別にご出演をお願いした能管奏者の野中久美子様のお披露目演奏で新年会は始まりました。ついで林監事が草創期の思い出などをお話しされ、乾杯となりました。会場内は、都草の活動のことや、京都検定・京都の歴史文化などについての話題で盛り上がり、田村専務理事の軽妙な司会で次から次へと繰り広げられる余興に、大きな笑い声と拍手が湧き上がりました。（理事長 坂本孝志）



第1回 研修・親睦バス旅行を終えて



岩澤ますみさんと中江好喜理事

「ともに京都を学び・語り・遊ぶ」をモットーに！ NPO 法人京都観光文化を考える会・都草が発足してはや 5 年目に入りました。美化活動、歴史探訪会、研究発表会を基本とし定期的な活動を行う中、組織は日々拡大を続け会員数も 300 名の大台を超える大所帯となりました。

今回のバス旅行は、日頃のご労苦に対する感謝と会員の親睦を図るために計画され 12 月 3 日、うっとりしい空模様のもと総勢 42 名は元気よく京都駅八条口を若狭地区へ向かって出発。

まずは湖西道路から福井県に入り古い屋並みの残る熊川宿を散策、その後、天徳寺境内から湧出する日本名水 100 選の「瓜割の滝」を訪れ水量とその水の清冽さにいたく感激。

そして食事処である小浜港近くのフィッシャーマンズワープで昼食に舌鼓を打ち、家族にお土産を買いこみ楽しみました。

その後お水送りの寺、神仏混淆の寺「神宮寺」を拝観。本堂内陣に立ち入り神仏が共存する荘厳な雰囲気と、圧倒的な迫力に驚きながら長い長〜い住職の説法に耳を傾け少々疲れ気味。

その後、関伽井戸を見学し、最終訪問地の「鵜の瀬」までは遠敷川を遡ること約 2 キロ弱の距離。

関西に春を告げる「お水取り」は伝説によれば、鵜の瀬から奈良東大寺まで「お水取り」に 10 日かかるらしいが、途中京都市下京区の水薬師寺の地下を通る？らしいことを全員が何となく認識しながら帰宅の途につきました。

第一回の研修・親睦バス旅行は心配された天候もまずまずで、皆様方のご協力により時間通りすべて廻ることが出来「ほっ」と安堵いたしました。参加会員の皆様方も大いに打ち解け十分に親睦を深めていただけたものと思います。

本当にありがとうございました。また次回お会いしましょう。（理事 中江好喜）

◆◇京の伝統工芸へのいざない～京都伝統産業ふれあい館案内への思い◇◆



広瀬俊子さん

都草が岡崎にある「みやこめっせ」地下1階の京都伝統産業ふれあい館常設展示場でガイドを始めて、今年の3月で5年目に入ります。その間、多くの来館者に京都の伝統工芸品や伝統産業を紹介し、京都の素晴らしさをアピールしてきました。他の産地で、京都のように多くの産業が発展してきたところはありません。長い間都草が置かれ、多くの神社仏閣が所在していたためかと思えます。

さて、現在都草では、山本喜康、田村光弘、吉村哲郎、高野敏明、広瀬俊子、森世紀雄、大谷英美子、俊藤靖、西田民子、南野美津子、有川ツヤ子、石井小雪、藤枝光子、大村隆清の14名の会員が、ふれあい館を案内しております。案内は、毎週土、日曜日に交替で担当しております。

ここで、広瀬さんのふれあい館での活動に対する思いを紹介させていただきます。

「地方の方はもちろん、京都の方もこの施設をご存知ない方が多いのに驚きます。展示品のことを説明するだけでなく、来館して頂いた方々とふれあう事の大切さに気付き、多くの方々にお声がけして、お話をさせていただいております。私自身も勉強させていただくことも多く、ゆったりした時間を楽しみながらのご案内を心がけるように務めています。」

これからも、私達は伝統工芸品だけでなく、京都観光・文化の知識も併せて紹介していきたいと思っております。(副理事長 大村隆清)

◆◇ 会員の紹介 ◇◆

私の趣味 コントラクトブリッジに魅せられて

私は京都に住み始めてまだ数年で、都草では主に清掃活動や歴史探訪会に参加させていただいています。30代の頃、夫の仕事の関係で9年ほど香港に住んでいました。その頃コントラクトブリッジというカードゲームを覚えました。(駐在員の妻はビザの関係で働くことが出来ず趣味の世界で生きるしか方法がないのです)今回京都国民文化祭で2日間の体験教室と初心者向けの競技会が行われ、手伝いに行ってきました。

日本でコントラクトブリッジは殆ど知られていませんが、欧米では家族で楽しんだり、フィニシングスクールの科目になったり、社交上の嗜みとして広く知れ渡っています。サンドイッチは、ブリッジに夢中になった伯爵が食事の時間も惜しく、ゲームをしながら食べられるということで考案されたといわれています。また、サマセットモームの小説の事件の謎解きにブリッジの場面が登場し、知っているとなるほど・というものもいくつかあります。全世界で愛好家1億人とも言われており、カルロス・ゴーン夫妻やビル・ゲイツ氏も愛好しています。日本では山本五十六が好きで、海軍では一時かなり普及していたそうです。

カード(52枚のトランプ)と4人集まればすぐ遊ぶことができ、関西は大阪にあるセンターやクラブで競技会が開かれています。半日のウイークリーゲームから数日間に及ぶ国際大会まで多種類の競技会があります。ゲームには約束事が多く覚えるまでがちょっと大変です。遊べるようになると技術力のみならず、推理力、記憶力+ツキが勝敗を決め、時を忘れて楽しめます。私は20年になりますが、まだまだ未熟で本当に奥が深い競技です。マインドスポーツといわれ頭を使うので、ボケ防止には最適です。皆様も始めてみませんか?

(会員 深澤光佐子)



<原稿募集>

「会員の紹介」欄は、新会員の紹介や会員の声などを掲載する会員コーナーで、会員の皆さんの投稿によって作られています。皆さんの積極的な投稿をお待ちしています。

原稿は600字程度で、ご自身の都草とのかかわりや都草に対する思いなどのほか、都草以外での活動や趣味などを盛り込んでいただいても結構です。

原稿は、「都草だより原稿」と明記の上、会員番号と氏名を記入して、都草事務局にお届けください。

(広報委員会)